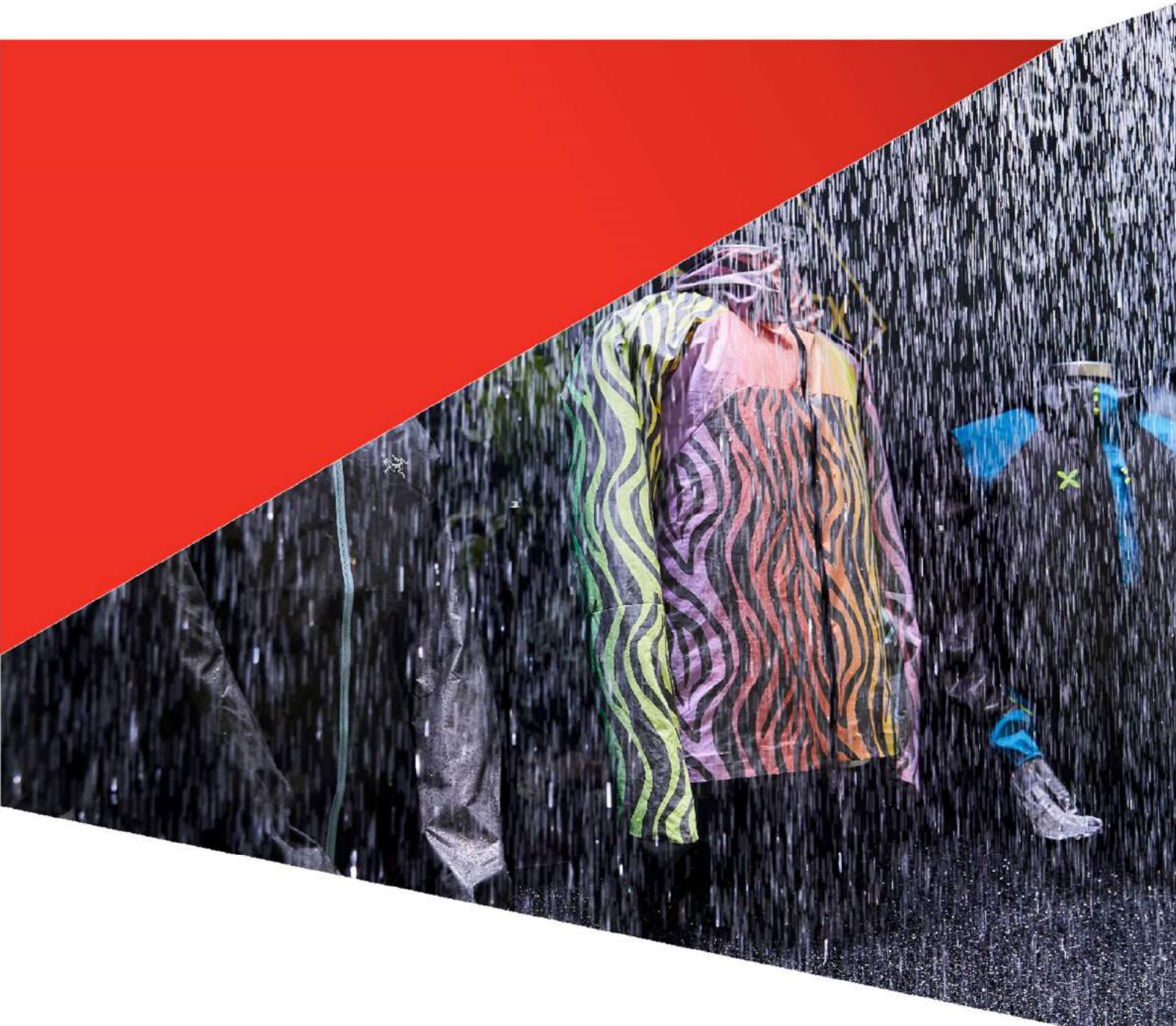
当資料は、W. L. Gore & Associates, Inc.が作成した英文レポート
「GORE FABRICS DIVISION RESPONSIBILITY UPDATE 2019」を日本語に翻訳再編集したものです。
正式言語は英語であり、その内容及び解釈については英語が優先します。
英文レポート：https://www.gore-tex.jp/sites/default/files/docs/Responsibility_Update_2019.pdf

*Together, improving life*

# ゴア ファブリクスディビジョン レスポンシビリティ アップデート 2019



# 目次


| | |
|---|---|
| エディトリアル | P 3 |
| $PFC_{EC}$撤廃に向けた重要な進展 | P 4 |
| ロードマップにおけるマイルストーン#7：PTFE焼却試験の結果を公表 | P 6 |
| ロードマップにおけるマイルストーン#8：化学的有害性の新たな評価方法を開発 | P 7 |
| 拡大するOEKO-TEX®とbluesign®の認証製品 | P 9 |
| 新しいHiggデータで明らかになるPTFEの環境インパクトの低減 | P 11 |
| 環境フットプリントの改善されたゴアテックス製品をさらに発表 | P 13 |
| 一般消費者に勧めるアウトドア・アパレルの適切な洗濯と手入れ | P 15 |
| 社外との連携による革新的な機能性素材の開発 | P 17 |
| ゴア ファブリクスディビジョンの全世界の工場がISO14001の認証を取得 | P 19 |
| サプライチェーンを通じて進展する多様なGSR活動 | P 21 |
| ゴアテックス アスリートのグレッグ・ヒルが語る習慣と生き方を変えた方法 | P 24 |
| ゴアについて／ゴア ファブリクスディビジョンについて | P 26 |

# エディトリアル

2019年も変化の絶えない一年となりました。世界はすでに地球温暖化のような大きな社会的および環境的課題に直面していますが、さらなる政治的、経済的、社会的問題が山積みになっています。当社にとっても同様に、2019年は社内外を問わず機会と課題に満ちた一年でした。

これらの機会をつかむために、すでに公表した目標に向けて懸命に取り組みましたが、他にどのような行動をとる必要があるかも評価しました。カーボンフットプリントを理解してその削減を加速させることは、分かりやすい例です。

「レスポンシビリティ アップデート2019」では、環境、共に働く人々、社会へ及ぼす影響を改善するための当社の取り組みの概要をお伝えします。

PTFE焼却試験結果の公表や新しい素材の有害性を評価する新手法など、一般消費者向け製品の製造工程からの「環境への影響に懸念のある低分子量PFC化合物」（$PFC_{EC}$）撤廃に向けたロードマップの進捗状況をお伝えします。環境負荷を軽減する一方で、機能性と耐久性に優れた製品の開発を目指す、米国カリフォルニア州シリコンバレーの素材専門企業との取り組みについても詳しく報告します。

OEKO-TEX®およびbluesign®と連携し、PTFEに関する最新にデータについてHiggと協力して取り組んでいる「社会的責任に関するガイドライン」の実現に向けたさらなる進展についてもご覧ください。また、$PFC_{EC}$フリーの耐久撥水（DWR）加工と原液着色したリサイクルポリエステルの裏地を採用した汎用性の高い3層の新しいゴアテックス製品、当社工場のISO14001認証の完了、試験的に実施したウォッシュ&ケアプロジェクト、ゴアテックス アスリートがどのようにして環境に配慮するようになったかについても報告いたします。

本報告書をお楽しみいただければ幸いです。当社とお付き合いしていただきながら、2020年以降もサステナビリティに関するニュースにご期待ください。

バーナード・キール

**バーナード・キール**
**（ゴア ファブリクスディビジョン サステナビリティ・リーダー）**

# $PFC_{EC}$撤廃に向けた重要な進展

「環境への影響に懸念のある低分子量PFC化合物（$PFC_{EC}$）撤廃に向けたゴア ファブリクスディビジョンの目標とロードマップ」の進捗において、一部の取り組みに遅れが見られるものの、主要なマイルストーンは達成されています。

2017年2月、ゴアはグリーンピース社との議論の後に、一般消費者向けファブリクス製品のライフサイクルから「環境への影響に懸念のある低分子量PFC化合物（$PFC_{EC}$）」を撤廃するための目標とロードマップを発表しました。これにより、当社の研究開発プログラムが数年にわたり2023年まで拡大しました。

このプログラムによって、パフォーマンスと改善された環境フットプリントの最適な組み合わせを目指した、新しい一般消費者向けアウトドア製品の開発が可能になります。当社は、カスタマー、エンドユーザー、および一般の方々との取り組みを共有すべく、目標達成に向けた進捗状況を定期的に更新しています。

2020年1月時点における最新の進捗レポート（当社のウェブサイトで閲覧可能）では、下記のマイルストーンと成果に関して報告しています。

**進捗状況：**

期日通りに完了

順調に進行中

遅延

| マイルストーン | 状況 | 進捗<br>2019年時点 |
|---|---|---|
| 1. 一般消費者向け最終製品（ガーメント、フットウェア、グローブ、アクセサリー）のラミネートからの$PFC_{EC}$の撤廃に向けて、2020年末までに**85%削減**、2023年までに**100%削減**を目指す | 現在、ゴア ファブリクスディビジョンとコアテクノロジーディビジョンでは、15を超えるイノベーションプロジェクトに専念しており、今後数年間で新しいフッ素化および非フッ素化テクノロジーを開発し、これを当社の研究開発の優先事項にしています。<br>計画の実現に向けて、サプライヤーと協力して懸命に取り組んでいますが、真のイノベーションを保証できる段階には至っていません。現在、技術的な問題が発生しているため、カスタマーへの最初の出荷を目指して取り組んでいます。$PFC_{EC}$の全廃は2023年末までに達成できる見込みです。 | |
| 2. 2018年第2四半期に2018年秋冬シーズンに向けた**新しい非フッ素系耐久撥水（DWR）加工**を導入 | 新しい非フッ素系の耐久撥水（DWR）加工は、徹底的なスクリーニングとフィールドテストを経て採用されました。テスト段階においては、この$PFC_{EC}$フリーの耐久撥水（DWR）加工が当社の一般アウトドア製品に求められる性能基準をクリアしていることが確認できており、有害性評価も実施済みです。<br>2018年、50%以上の一般アウトドア製品群に新しい$PFC_{EC}$フリーの耐久撥水（DWR）加工が導入されました。2019年には、導入率がさらに上昇しました。 | |

# $PFC_{EC}$撤廃に向けた重要な進展

| マイルストーン | 状況 | 進捗<br>2019年時点 |
|---|---|---|
| 3. **製品タグ**に当社の取り組みに関する情報を表示し、店頭に並ぶ商品を通じて一般消費者に伝える | $PFC_{EC}$フリーの耐久撥水（DWR）加工に関する情報などを記載した製品タグをブランドパートナーやリテールパートナーと新たに開発し、店頭に並ぶ製品に取り付けました。 | |
| 4. **$PFC_{EC}$を**重合助剤として**使用せずに**製造する新しいePTFE膜の開発 | 当社とサプライヤーは、製造過程で$PFC_{EC}$が不要となったファブリクス向けに、新しいPTFEグレードを開発しました。2017年後半、新しいPTFEグレードを用いた試作を開始しました。<br>現在、新しいPTFEグレードを用いた$PFC_{EC}$不使用の初期製品を開発中。2021年に商業規模で展開できる見込みです。 | |
| 5. 非フッ素系の**代替**メンブレン**素材**の開発 | 代替素材の導入に向けた取り組みが進んでいます。多くの選択肢の中から最も有望な方法に絞り込み、開発を進めています。主要な技術的不確実性は解決されましたが、まだ技術的な作業があるため、当初予想していたより少し長いタイムラインになることが見込まれます。 | |
| 6. 技術的に最も難易度の高い用途に対応する**$PFC_{EC}$フリーの耐久撥水（DWR）加工**の開発 | 非常に要求の厳しい最終用途向けの$PFC_{EC}$フリーの耐久撥水（DWR）加工の開発は、今後の重要課題です。しかし外部と緊密な連携により、最も有望な方法に絞り込み、目標を達成するために順調に開発を進めています。 | |

「環境への影響に懸念のある低分子量PFC化合物（$PFC_{EC}$）撤廃に向けたゴア ファブリクスディビジョンの目標とロードマップ」に関連して、PTFE焼却試験結果の公表と、標準化された科学的有害性の新たな評価方法の開発という2つのマイルストーンもさらに達成しました。以下に詳細を報告します。

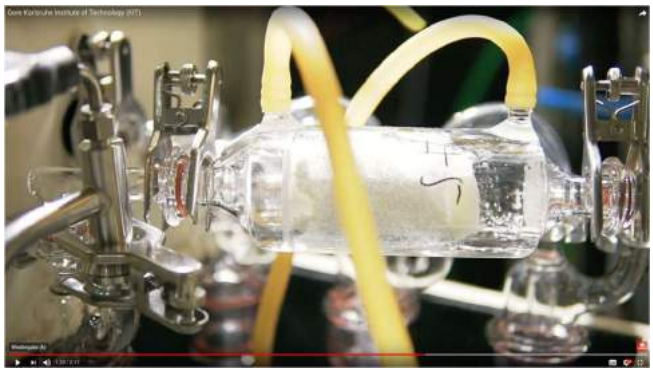
# ロードマップにおけるマイルストーン#7：PTFE焼却試験の結果を公表

カールスルーエ工科大学（KIT）と当社は、一般廃棄物焼却炉でのPTFEを含むアパレル製品の燃焼が環境的に安全であることを示す科学的研究結果を公表しました。

ゴアテックス製品の核となる素材PTFE（ポリテトラフルオロエチレン）は、製品が捨てられ一般廃棄物焼却炉に持ち込まれるとどうなるのか。焼却時に「環境への影響に懸念のある低分子量PFC化合物（$PFC_{EC}$）」が発生する可能性はあるのか。当社はこれらを調査するため、世界中の科学的リソースを評価している、ドイツの世界的に有名な政府出資の研究大学であるカールスルーエ工科大学（KIT）の科学技術研究所に、一般廃棄物焼却炉でPTFEの焼却研究の実施を委託しました。

様々な関係者からの試験計画案に対する意見をいただき、独立した第三者研究機関でサンプルを解析しました。2017年と2018年の一連の検証の後、2018年2月にKITで実験が実施されました。科学者は、当社から支給されたPTFEペレットを、天然ガス、木質ペレット、空気と共に、実験用焼却炉で燃焼させて試験をしました。実験用焼却炉では、実験室実験よりも大きな規模で、都市ごみ廃棄施設の標準的な焼却炉の条件が再現されました。

上記の実験に関する動画をオンラインでご覧いただけます。
www.youtube.com/watch?v=2u1pgUzCN9Q&feature=youtu.be（英語）



ロードマップにおけるマイルストーン#7とマイルストーン#8

調査結果のまとめ：標準的な一般廃棄物焼却炉の状況でPTFEを燃焼させたところ、普遍的なバックグラウンド濃度を超える高濃度の「環境への影響に懸念のある低分子量PFC化合物（$PFC_{EC}$）」は検出されませんでした。標準的な一般廃棄物焼却炉では、PTFEは基本的に二酸化炭素とフッ化水素に変わります。よって、利用可能な最良の技術を用いた一般廃棄物焼却炉でのPTFEの焼却は、受容できるごみ処理方法と考えられ、環境への懸念も引き起こしません。

KITと当社は、2019年に国際的な科学雑誌で調査結果を報告しました。（Chemosphere，第226号，2019年7月，p. 898-906）

雑誌『Chemosphere』

調査結果の全文は、オンラインでご覧いただけます。
https://doi.org/10.1016/j.chemosphere.2019.03.191（英語）

# ロードマップにおけるマイルストーン#8：化学的有害性の新たな評価方法を開発

## より優れた素材の選択と安全性の向上のため、標準化された化学的有害性の評価方法を新たに開発し実施しました。

当社はbluesign® システムやOEKO-TEX® のSTANDARD100 に長年取り組んでおり、サプライチェーンやゴアテックス ガーメントの製造に使用される化学製品の管理方法をさらに改善する方法を常に探求してきました。

現在進行中のイノベーションプログラムから生まれた新素材の性質をスクリーニングするため、2019年に製品の安全性と化学物質コンプライアンスに関する当社のエキスパートたちが、様々な新しい方法を検証しました。その結果、当社のファブリクス製品群に関する新たな評価方法が開発されました。ゴア ファブリクスディビジョンは、2018年12月に第三者機関の専門家によって検証された、新しい有害性評価法の実施を開始しました。

# ロードマップにおけるマイルストーン#7とマイルストーン#8

## ジョン・ハンマーシュミット（ゴア ファブリクスディビジョン サステナビリティ テクニカル チャンピオン）へのインタビュー

ジョン・ハンマーシュミット

**有害性を評価する新たな方法に取り組んだきっかけは何だったのでしょうか？**

**ジョン・ハンマーシュミット：**私たちは、人間の健康と環境に対する有害性の早期の特定と評価は、新製品の開発プロセスとより良い素材の選定に不可欠であると考えています。プロセスの早い段階で情報に基づいた素材の選定を行うことにより、その素材が優れた性能と製品に安全性を提供することを確信して、技術革新に専念できます。

**この新しい方法を実施することは、ゴアにとってどのような意味を持つのでしょうか？**

**ジョン・ハンマーシュミット：**私たちは、開発者が情報に基づいた素材選定を行うための知識を持てるよう、固有の有害性の早期評価に取り組んでいます。評価に関するフィードバックをサプライヤーに提供することで、当社に代替素材を提供することもできます。この新しいツールにより、社員は自分が使用する素材をより深く理解できるようになります。新しい一般消費者向けのファブリクスを製品化する前に、有害性の早期評価と独立した第三者機関による包括的な有害性評価を組み合わせることで、製品の安全性に対するエンドユーザーの信頼を高めることができます。

**なぜ化学的有害性の評価がアウトドア産業にとってそれほど重要なのでしょうか？**

**ジョン・ハンマーシュミット：**新製品の開発は、革新と継続的な改善の機会を提供します。素材固有の有害性を評価することにより、意図したとおりに機能し、有害性を最小限に抑える素材を選定できます。製品のパフォーマンスを提供する革新的な素材の選択範囲を体系的に狭め、新素材が最初に導入されたとき、最高の固有の有害性プロファイルを示す素材を選定するようにして、「不適切な代替品」を避けようとしています。そうすることで、私たちは最高の固有有害性プロファイルを持つ素材をあらかじめ選びます。これは、当社の製品ポートフォリオを強化し、化学物質のリスク管理にプラスの影響を与える新製品開発の未来です。

# 拡大するOEKO-TEX® とbluesign® の認証製品

## 化学製品の管理に関する主要な目標を予定よりも早期に達成し、一般消費者向けラミネートのbluesign®認証取得率は85%に達しました。

ゴア ファブリクスディビジョンのサステナビリティ戦略と製品保証にとって、責任を持って安全に化学製品を取り扱うこと、社員や消費者、環境を守ることは不可欠です。当社では、25年以上にわたって独自に検証を行ってきました。製品の優れた品質と安全性を確保するため、信頼性のある第三者機関による、bluesign® システムとOEKO-TEX® STANDARD100という2つの規格を採用しています。

当社は、「環境への影響に懸念のある低分子量PFC化合物（$PFC_{EC}$）」を製品から撤廃することと、水準の高い第三者機関から安全性に関する認証を取得することを目標に掲げています。2017年、ゴア ファブリクスディビジョンは、2020年までに一般消費者向けガーメント用ラミネートの85%がbluesign® の認証を受け、100%がOEKO-TEX® STANDARD100の認証を受けるという目標を発表しました。

これらの目標は予定より早く達成されました。2019年前半に、一般消費者向けガーメント用ラミネートのOEKO-TEX® STANDARD100の認証取得率が95%となり、残りのラミネートもその要件に従って製造されました。一般消費者向けガーメント用ラミネートのbluesign® の認証取得率85%という目標は、当初の設定期限より1年以上早い2019年3月に達成されました。

「私たちは、一般消費者向けガーメント用ラミネートのbluesign® 認証取得率が2020年の期限よりも早期に85%に達したことを、大変誇りに思っています。これは、責任ある製造と製品の安全性の継続的な改善に向けた当社とサプライヤーの取り組みの確固たる証拠です。2つ目の目標である、一般消費者向けガーメント用ラミネートのOEKO-TEX® STANDARD100認証取得率100%が達成される日も近いことを確信しています。」

**キリアン・オシュレイン（プロダクト・スチュワードシップ）**

# 拡大するOEKO-TEX® とbluesign® の認証製品

## bluesign® システムについて

bluesign®システムは、テキスタイル産業のための深遠で包括的な化学物質管理、環境、安全性、および認証に関する仕組みです。bluesign®は、分散したテキスタイルサプライチェーンに沿った、サステナビリティの専門知識の信頼できるソースとしても機能します。機密性により、bluesign® は専有と見なされる化学情報にアクセスし評価することができます。その結果、テキスタイル企業は、bluesign® ファインダーと呼ばれる徹底的に見直された「ホワイトリスト」から、より安全な化学物質を選択できます。ここにリストされている化学物質は、有害化学物質ゼロ排出ゲートウェイの要件への最高レベルの適合性も認められています。

2010年には、ゴア ファブリクスディビジョンの全製造現場が監査を受け、bluesign®システムのパートナーになりました。それ以来、当社はパートナーと協力して、「bluesign® 認証済み」のラミネートをブランドパートナーに提供できることを目的として、サプライチェーン全体でbluesign® システムの推進と実装しています。bluesign® システムの基本理念は、包括的で信頼できる情報に基づいて安全であると認識されている、追跡可能な起源の化学物質のみ使用を認めることです。

詳細は、www.bluesign.com（英語）でご覧いただけます。

## OEKO-TEX® とSTANDARD100について

OEKO-TEX® は、欧州とアジアにある18の独立したテキスタイル検査および研究機関で構成されています。同時に、テキスタイルおよびレザー産業の試験方法や限界値を継続的に開発しています。これは、高品質の製品のインセンティブまたは技術革新と開発を提供します。その使命は、テキスタイルおよびレザー製品に対する信頼を築くことです。この信頼は、様々な有害物質の検査によって支えられ、製品が安全に着用できることを保証します。

当社は、90年代前半にOEKO-TEX® との取り組みを開始し、1996年に機能性ファブリクスのラインを中心に初の認証を受けました。以降、当社では製品の安全性を評価するベースラインとして、OEKO-TEX® のSTANDARD100を採用してきました。

詳細は、www.oeko-tex.com（英語）でご覧いただけます。

# Higgの新規データで明らかになる PTFEによる環境インパクトの低減

最新の製造技術を反映したMaterial Sustainability Index（MSI）で測定したHiggの新規データセットによると、PTFEによる環境インパクトは低下しており、テキスタイルの選定が当社ラミネートの環境負荷を左右する重要な要素となります。

当社は、企業や製品のサステナビリティパフォーマンスを正確に測り評価するためのツール「Higg Index」を開発し運用する、サステナブル・アパレル連合（SAC）の創設メンバーです。「Higg Index」は、ブランド、小売業者、施設の持続可能性への取り組みにおけるあらゆる段階で用いられる評価ツールです。「Higg Index」は、企業がビジネスを促進し、工場労働者、地域社会、および環境を保護する意味のある改善を行うための総合的な概要を提供します。

## ベン・ボア（製品環境フットプリントスペシャリスト）へのインタビュー

ベン・ボア

**2019年、ゴアは将来の「Higg Index」開発に向けてどのような貢献をしたのでしょうか？強調すべき具体的な成果はありますか？**

**ベン・ボア：**2019年はSACと協力して、PTFEの環境インパクトをMaterial Sustainability Index（MSI ※特定の素材を選定した際の環境へのインパクトを測定する指数）で評価するデータセットを更新しました。PTFEに関する前回のデータセットは、古い製造工程に基づいたものでした。今回の更新により、現行の製造工程に沿ってPTFEを評価できるデータが得られ、MSIで測定されたPTFEの環境インパクトは大幅に低下しました。

まもなく完成するHigg Product Footprint Moduleの枠組みや、MSIに関する新しいウェブサイトの最終調整にも取り組んできました。SACに対して「Higg Index」の製品ツールのフィードバックと監視を行うHigg Index Product Advisory Councilに引き続き参加しています。

# Higgの新規データで明らかになるPTFEによる環境インパクトの低減

**PTFEのデータセットを更新することがなぜそれほど重要なのでしょうか？ゴアとゴアテックス製品にとって、どのような意味があるのですか？**

**ベン・ボア：**今回の更新は、特に現在の製造技術に合わせてMSIが改善されたことを表しています。PTFEの更新情報は、MSIの全データセットを初めて総合的に更新したものです。全データセットがこの更新によってより新しい製造技術に沿ったものになります。つまり、スコアの表す工程が現在の製造状況を反映することになり、スコアの正確性が全体的に高まるのです。

当社の観点から考えると、ラミネート全体のスコアの一部として、メンブレンの環境負荷スコアが大幅に低下するはずです。これは、テキスタイルの選定が当社ラミネートの環境負荷を左右する重要な要素になることを意味します。

ゴアテックス インフィニアム™ プロダクトシリーズにおいて、フィルムの軽量性により、フィルムの付加的な影響がさらに軽減されます。つまり、このプロダクトシリーズは、環境への影響を最小限に抑えながら、テキスタイルに技術的な機能を追加することができます。

**2020年には、さらにどのような進展が見込まれますか？**

**ベン・ボア：**2020年は、SACとHiggにとって刺激的な年になるでしょう。2020年に、SACは製品環境フットプリントツールとMSIに関するウェブサイトを立ち上げます。新しいツールであるHigg Product Moduleは、耐久性などの重要な要素を考慮し、製品がライフサイクルを通じて環境に及ぼす影響を測るよう設計されています。2020年には、MSIデータベースが最新のデータに更新され、ツールのインターフェースに機能が追加される予定です。

SACと「Higg Index」の詳細は、https://apparelcoalition.org/thehigg-index/（英語）でご覧いただけます。

**Higg Product Module（PM）**は、ライフサイクルを通じて製品が環境に与える影響を測定します。製品の水の使用量、エネルギーの消費量、地球環境全体への影響の程度が含まれます。ライフサイクルを通じて環境に与える影響を評価することで、ブランドや小売業者、製造業者は改善に取り組み、より責任を持ってアパレル製品やフットウェア、テキスタイル製品を製造することができます。

Higg PMは、ライフサイクル評価ツールに通常かかるより少ない時間とコストで、最終製品のライフサイクル全体の影響を評価するのに役立ちます。このツールは、任意のカテゴリーの製品を互いにどのように比較され、どのライフサイクル段階または製造プロセスに環境負荷の最大の要因があるかを示します。このツールは、分析を測定および生成するために業界独自の内部システムと統合できる可能性もあります。

2020年に発表予定のHigg PMにより、ユーザーは、工業規模で製造された数多くのアパレル製品やフットウェア、テキスタイル製品の環境負荷を算出できるようになります。これは、将来の製品ラベルや環境関連法に向けた大きな一歩です。

# 環境フットプリントの改善された ゴアテックス製品をさらに発表

PFC$_{EC}$フリーのDWR（耐久撥水）加工を施し、原液着色した再生ポリエステル製バッカーを使用した、汎用性の高い3層構造のゴアテックス製品を新たに発表しました。

2019年2月、当社はドイツのミュンヘンで開催されたISPOの展示会において、汎用性の高いゴアテックス3層構造ラミネートを新たに発表しました。持続的な快適性と防護性に関する期待に応えつつ、アウトドア・アパレル製品の環境フットプリントを改善する、用途に合った性能のファブリクスを開発する旅において、また重要な一歩を踏み出したことになります。

汎用性が高く、持続的な防水性・防風性・透湿性のあるアウトドア・ジャケットは、新しいゴアテックス3層構造ラミネートで作られており、原液着色した再生ポリエステル製の新しいバッカーと、表地に施した「環境への影響に懸念のある低分子量PFC化合物」を使用しない耐久撥水（DWR）加工（PFC$_{EC}$フリーのDWR加工）を特徴としています。

3層構造の新しいゴアテックス ガーメントは、都市部での活動や一般的なアウトドア活動に適した持続的な保護性と快適性を発揮し、日常生活における汎用性を提供します。対応する活動は幅広く、キャンプ・ハイキング・旅行からゴルフ・スキーなどのスポーツ活動にまでわたります。新しい3層構造ジャケットは防水性を備え、ゴアテックス プロダクトの「GUARANTEED TO KEEP YOU DRY™」プロミスを掲げています。

ライダー・ピングリー（ゴア ファブリクスディビジョン プロダクト・スペシャリスト）は次のように説明しています。「私たちの最新の技術革新は日常生活での汎用性が極めて高く、多くの利益をもたらします。持続的な防水性と防風性があり、透湿性は非常に高く、肌触りが快適なのは確かです。汎用性の高い3層構造の新しいハードシェルは、性能と改善された環境フットプリントの最適な組み合わせを提供します。」

新しいPFC$_{EC}$フリーの耐久撥水（DWR）加工は、当社による徹底的な試験で優れた結果をおさめ、2層構造のゴアテックス製品とともに2018年の秋／冬シーズンから販売されています。採用されたPFC$_{EC}$フリーの耐久撥水（DWR）加工はbluesign®システムの認証を受け、OEKO-TEX® STANDARD100の基準も満たしています。

耐久撥水（DWR）加工の化学的性質を評価し比較するため、当社は特有の試験方法を採用しています。試験は当社の研究施設と人工降雨施設で消費者の使用状況をシミュレーションして実施されます。研究施設での試験に加え、スコットラン

## 環境フットプリントの改善されたゴアテックス製品をさらに発表

ドと米国では、一般的なアウトドア・ユーザー（ハイキング、屋外でのウォーキング、一般的なアウトドア活動、屋外での作業、都市での通勤）を対象に、大規模なフィールドテストを実施しました。その結果、テストに参加したユーザーの90%超が、3層構造のゴアテックスガーメントの特徴である新しいPFC$_{EC}$フリーの耐久撥水（DWR）加工の性能に満足していることが分かりました。

当社は1年以上かけて、サプライチェーン・パートナーと共に、リサイクル材と原液着色による過去最軽量の糸を新しく開発しました。約4000本の再生ペットボトルから、1000メートルの新しい裏地が作られます。

原液着色は、従来の技術とは異なるシンプルで優れた染色技術です。原液着色工程の間、紡糸工程前のナイロンまたはポリエステルペレットなどの原料に染料を混合します。製造された糸は永久的にしっかりと着色され、織物に織り込まれます。従来のジェット染色に比べて、原液着色の工程では地球温暖化係数を約96%、水の使用量を約88%削減できます（Higg Material Sustainability Indexによる）。

「持続可能性の観点から考えると、新しい3層構造のゴアテックス ファブリクスは重要な製品です。PFC$_{EC}$フリーの耐久撥水（DWR）加工が施されており、バッカーには原液着色された再生素材を使用しています。」

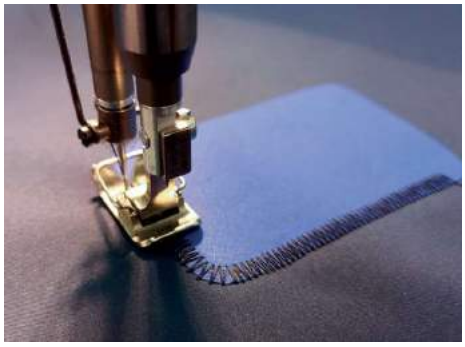
**バーナード・キール（ゴア ファブリクスディビジョン サステナビリティ・リーダー）**

# 一般消費者に勧めるアウトドア・アパレル製品の適切な洗濯と手入れ

アウトドア製品の機能的パフォーマンスと耐用年数をのばすことは環境フットプリントを低減する最善の方法であり、適切に洗濯・手入れ・修理をすることで、消費者も責任の一端を担うことができます。

持続可能性は、製造業者や小売業者からアウトドア・アパレル製品のエンドユーザーまですべての人々が意識を持ち、責任を負うことによってのみ達成することができます。ガーメントを適切な方法で手入れすることで、消費者は環境保護に貢献することができます。特に耐久撥水（DWR）性を維持するための定期的な手入れを行うことで、ゴアテックス製品の優れたパフォーマンスが維持され、耐用年数がのびるからです。依然として、これは製品の環境フットプリントを低減する最も効果的な方法です。ゴアテックス製品の全生涯を「揺りかごから墓場まで」評価するために当社が実施した、科学的なライフサイクルアセスメント（LCA）研究でも証明されています。

当社は、適切なガーメントの洗濯と手入れの重要性を高めたいと考えており、ブランドパートナーや小売業者の協力のもと、私たちが推奨するゴアテックスガーメントの洗濯・手入れ方法を消費者に伝えています。この取り組みによって、消費者が自身のアウトドア製品の性能を最適化し、耐用年数をのばすことができるため、結果的に環境フットプリントの低減につながります。ゴアテックス製品の適切な手入れと修理方法に関しては、様々な媒体（当社のウェブサイト、YouTube動画、各ソーシャルメディア）から発信しています。



# 一般消費者に勧めるアウトドア・アパレル製品の適切な洗濯と手入れ

ゴアテックス ファブリクスの撥水性を繰り返し回復させるためのお手入れ方法は簡単です。基本的に、ユーザーはメーカーの洗濯表示ラベルに沿った洗濯方法で泥や汗を取り除いてから乾燥させる必要があります。乾いたら、さらに20分間乾燥機にかけます。ガーメントに熱を加えると耐久撥水（DWR）加工が復活して、撥水性と快適性が改善されます。アウターウェア（新品のゴアテックス ジャケット等）には上記の処理を施し、初めて屋外で使用する前にその耐久撥水（DWR）性を有効にしておくことをおすすめします。

2018年、当社は製品の耐用年数をのばすための専門的なサービスを求めるアウトドア愛好家のために、ドイツとオーストリアで「ウォッシュ&ケア」 プロジェクトを試験的に開始しました。同プロジェクトは、専門家によるゴアテックス ガーメントの手入れを一般消費者に提供するサービスを検証するために、外部のクリーニング専門家の協力のもと実施されました。洗濯、乾燥、耐久撥水（DWR）加工の回復を含むサービスが提供されました。消費者がオンライン登録後に自身の製品を担当チームへ郵送すると、2営業日後という短い期間で返却されました。プロジェクトの試験段階が無事に終わり、「ウォッシュ&ケア」プロジェクトをドイツとオーストリアで本格的に実施する計画が現在進んでいます。このプロジェクトの対象を欧州などの主要マーケットへ拡大することも検討する予定です。

ダメージによってゴアテックス ガーメントに生じた裂け目や穴を一時的に補修しなければならないアウトドア愛好家のために、使いやすい 「ファブリクス修理キット」を提供します。ユーザーはパッチを使ってすぐに補修し、本格的な修理ができるまでの間、ウェアの防水性を保つことができます。ダメージに対する専門的な解決策が必要な場合は、世界中にある25の当社認定の修理拠点や製造ブランドへ消費者が直接依頼できます。専門家による修理に対する需要の高まりを受け、2019年には認定修理拠点に8つの施設を加えて、ネットワークを拡大しました。

世界各地にある認定修理拠点のリストは、www.gore-tex.com/support/repairs（英語）でご覧いただけます。

「当社のウォッシュ&ケアサービスでは、実際の消費者ニーズに応えます。本サービスの品質と利便性は、消費者の皆さまから高く評価されました。この評価を励みにして、本ケアサービスを長期的に提供し、対象範囲をほかの市場にも拡大できるよう取り組んでいます。」

**トビアス・ホーレット（コンシューマー・エクスペリエンス・スペシャリスト）**

# 社外との協業による革新的な機能性素材の開発

## ゴア イノベーションセンターとCheckerspot社は、高機能素材の共同研究を行うことを発表しました。

2019年11月、当社は、素材のベンチャー企業であるCheckerspot社（本社：米国カリフォルニア州バークレー）とゴア イノベーションセンター（米国カリフォルニア州シリコンバレー）で新たに共同研究を行うことを発表しました。この共同研究では、Checkerspot社の生物由来ポリマーやバイオテクノロジーに関する専門的知識と、当社が長年積み重ねてきた高機能アパレル製品の経験が結びつけられます。環境プロファイルが改善された高機能テキスタイルコーティング材を提供することを目指して、両社が革新的な素材の共同研究開発を進める予定です。

Checkerspot社のチームは、バイオテクノロジーと工業的発酵プロセスを利用して、以前は入手不可能だった独自の素材を商業規模で提供しています。当社は、パフォーマンスに優れた新素材を生産するために、自然の分子パレットの可能性を開き拡張します。

リンダ・エルキンス（ゴア イノベーションセンター リーダー）はこう述べています。「Checkerspot社と協業できることを大変喜ばしく思っています。今後、志を同じくする組織とともに研究を進めていくことを楽しみにしています。」

この共同研究では、スイスのBeyond Surface Technologies（BST）社からも専門知識を得ることになっています。この企業の使命は、環境負荷が最も低い方法でテキスタイル後加工を実現することと、機能を損なわずに不要な有害性を除去することです。現在BST社は、従来の全フッ素置換化合物（PFC）の代わりに再生可能な植物由来物質の後加工を開発しており、Checkerspot社のパートナー企業となっています。

マイク・マジャール（ゴア イノベーションセンター テクニカル・スカウト）はこう述べています。「私たちは特定の用途と適用方法を対象に、専門知識と機能を活用しながら、当社の最新設備を使用して新素材の設計、プロトタイプ化、試験を行います。材料科学の専門知識と数十年にわたる業界での経験は、Checkerspot社のような先駆的なベンチャー企業がコンセプトを現実に替え、相互有益な目標を達成するうえで役に立ちます。」

チャールズ・ディムラー（Checkerspot社 CEO）はこう述べています。「私たちは今回の共同研究を楽しみにしています。私たちの目標は、持続可能性を重要な考慮事項として開発された最高クラスのパフォーマンス素材を商品化し、アパレルを超えた業界全体で同様の変化を促進することです。」

# 社外との協業による革新的な機能性素材の開発

## Checkerspot社について

Checkerspot社は、分子レベルで機能性素材を設計する企業です。これは、微生物を最適化して、自然由来の構造油をバイオ製造することで実現しますが、以前は商業規模では利用できませんでした。Checkerspot社による最初の素材は次世代のポリウレタンとテキスタイル後加工で、消費者向け製品の性能を向上させるよう設計されています。現在は、スキー板としてWNDR Alpineというブランドから販売される機能性合成物や、miDori® BioWickという製品としてBeyond Surface Technologies社と共同販売される藻類由来の油脂を商業化しています。Checkerspot社の使命は、高性能で持続可能な素材の分子構成要素のパレットを拡張することです。

詳細は、https://checkerspot.com/（英語）でご覧いただけます。

## ゴア イノベーションセンターについて

ゴア イノベーションセンターは、カリフォルニア州のシリコンバレーにある11,000平方フィートの共同イノベーションスペース・ラボです。そこでは、ベンチャー企業、研究者、企業、カスタマーが、当社のイノベーターと協力して、医療、ファブリクス、自動車、航空宇宙、工業、電子、デジタルヘルスでの適用における困難な先端素材の課題について、すべてのパートナーに新しいビジネスチャンスと価値を生み出すことができます。ゴア イノベーションセンターの使命は、当社の機能を拡張し、新しい製品の機会を創出する補完的な信仰技術を探して統合することです。これは、2015年に導入されたゴア エンタープライズ戦略の重要なイニシアチブである技術革新を活性化する取り組みの一部です。

詳細は、www.gore.com/innovation-center（英語）でご覧いただけます。

「ゴア ファブリクスディビジョンの材料科学と工学の専門的知識を用いた、アウトドア・アパレル製品の環境プロファイルの改善への取り組みに貢献できることは、ゴア イノベーションセンターにとって光栄なことです。」

リンダ・エルキンス
（ゴア・イノベーションセンター）

「製品開発者と直接関わり、社会的責任のあるパートナーと協業することで、より良質でサステナブルな素材を用いて、優れた製品を作り市場に出すことができます。」

チャールズ・ディムラー
（Checkerspot社CEO）

「私たちは、ファブリクス製品の機能性と持続可能性の組み合わせを最適化できるよう、絶えず努力し続けています。」

マイク・マジャール
（ゴア イノベーションセンター
テクニカル・スカウト）

# ゴア ファブリクスディビジョンの全世界の工場がISO14001の認証を取得

## 当社が取り組む環境マネジメントにおける大きな前進：ドイツ・プッツブルンのファブリクス工場もISO14001の認証を取得しました。

2019年11月、当社のファブリクス工場（ドイツ・バイエルン州プッツブルン）が環境と品質のマネジメントに関するISO14001規格の認証を受けました。本認証により、ファブリクス製品を製造する当社所有の3つの工場全てが、環境・品質マネジメントシステムの国際規格に準拠していることになります。

バーナード・キール（ゴア ファブリクスディビジョン サステナビリティ・リーダー）はこう述べています。「今回のISO14001認証取得は、世界のファブリクスディビジョンの工場全てが同様に高水準の規格 （一部は法的要件を上回る規格）に準拠し、環境負荷の低減と安全な労働環境の実現につなげるという我々の公約に重点を置いた取り組みです。」

**ドイツ・プッツブルンの工場を訪問中のゴア ファブリクスディビジョン サステナビリティ・リーダーのバーナード・キール（右）と、クライマーでゴアテックス アスリートチームのメンバーでもあるシュテファン・グロヴァッツ**

ISO14001は、国際標準化機構（ISO）が1996年に発行した環境マネジメントシステムに関する国際規格です。各組織がそれぞれの環境フットプリントを改善し、法的義務などに従い、環境関連の目標を達成できる環境マネジメントシステムについて、国際的に認められた要件を規定しています。この国際規格は、「計画・実行・検証・改善」サイクルに基づく「継続的な改善」という考えに重点を置いています。

# ゴア ファブリクスディビジョンの全世界の工場がISO14001の認証を取得

環境保護は、社会的側面とともに、ゴア ファブリクスディビジョンのサステナビリティ戦略において重要な役割を果たします。世界的に認められている環境マネジメントの規格（ISO14001等）は、当社の環境マネジメントシステムにおける改善事項の特定とマネジメントの遂行補助のため、世界各地にある工場で一貫した工程を確立するのに役立ちます。

ドイツのプッツブルン工場でISO14001の導入を担当しているダニエル・エッカルト（ゴア ファブリクスディビジョン リージョナル・クオリティリーダー・ヨーロッパ）は次のように述べています。「このような重要な認証を取得できて喜ばしく思います。私たちのチームは素晴らしい仕事を成し遂げました。世界中にあるゴア ファブリクスディビジョンのファブリクス工場のISO14001認証取得が、PU3（本工場の内部呼称）で完了したことを誇りに思います。」

2010年、当社はISO規格に誘発されたファブリクス製品の製造工場で管理システムの確立に着手しました。ISO14001規格の認証を取得するために、ドイツのプッツブルンにある工場では、米国のエルクミルズと中国の深圳にある当社のファブリクス工場と同様の一連の特定のタスクと要件を満たすように求められました。

- 重大な環境インパクト（ガスや電気エネルギーの使用、工場廃棄物等）の特定
- 持続可能なエネルギー削減の達成に向けたエネルギー利用状況の監視
- 温室効果ガスの排出がもたらす環境インパクトの測定
- 進展状況を提示するためのプロジェクト追跡調査
- 当社のPeople（人）・Processes（工程）・Plant（工場）・Products（製品）（4Ps）の環境パフォーマンスに関連する全ての法的要件の遵守（当社の環境許可の要件を満たす等）
- 業務管理における規定遵守（適切な手順による化学物質の取り扱いと保管、現場の緊急事態に備えて社員の訓練を当社が行うこと）

ダニエル・エッカルトは、プッツブルンでの監査と認証の準備に懸命に取り組むチームの高い意欲を共有し、その理由についても明らかにしました。「環境への影響を明らかにすることは、環境フットプリントの改善に向けた私たちの取り組みの真の価値を当社全社員が理解し受け入れるための、最も重要なステップでした。」

CERTIFICATE

This is to certify that

W.L. Gore & Associates GmbH
Geschäftsbereich Textilfaminate
Hermann-Oberth-Straße 24
85640 Putzbrunn
Germany

has implemented and maintains an Environmental Management System

Scope:
Development, production and distribution of textile laminates and inserts

Through an audit documented in a report, it was verified that the management system fulfills the requirements of the following standard:

ISO 14001 : 2015

| | |
|---|---|
| Certificate registration no. | 003566 UM15 |
| Valid from | 2019-11-15 |
| Valid until | 2022-11-14 |
| Date of certification | 2019-11-15 |

DQS GmbH

Markus Bieker
Managing Director

Accredited Body: DQS GmbH, August-Schanz-Straße 21, 60433 Frankfurt am Main, Germany

**ダニエル・エッカルト（右端）とプッツブルンのプロジェクトチーム：（左から）アンドレアス・シュナイダー、ビート・シュティフ、クリスチャン・シュワブ、エレナ・ホルツヴァルト、マイケル・クラーナー、（画像では不在）リサ・ クレッツベルク**

# サプライチェーンを通じて進展する多様なGSR活動

## 中国 深圳にある当社の工場で実施されたHigg Facility Social & Labor Module（FSLM）の検証は、2019年の当社の社会的責任に関するプログラムにおける重要なマイルストーンになりました。

当社は責任ある企業として、法的にも倫理的にも誠実にビジネスを遂行することに尽力しています。これらの価値観の裏付けとして、当社は広く受け入れられている業界特有の基準と足並みをそろえ、社会的責任に関するガイドライン（GSR）を行動規範としてきました。

## エブレ・ケイナックとケナン・アーセル（ゴア社会的責任エキスパート）へのインタビュー

**2019年におけるゴアGSRプログラムの主な活動は何でしょうか？**

**エブレ・ケイナック：**当社のGSRプログラムは、サプライチェーンにおける3つのセグメントを対象にします。1つ目のセグメントは、当社の製造工場です。2019年8月、中国の深圳にあるファブリクス製造工場は、社会的コンプライアンス・パフォーマンスを個別に評価するために、Higg Facility Social & Labor Module（FSLM）検証を受けました。透明性への取り組みに沿って、結果Higg Portalで公開され、ビジネスパートナーによるレビューが可能です。ドイツのプッツブルンと米国のエルクミルズにある当社の工場は、検証のためにFSLMによる自己評価を完了する過程にあります。

エブレ・ケイナック

2つ目のセグメントには、当社が一般消費者向けに展開するブランドが製造されているサプライヤーが含まれます。ゴア ファブリクスディビジョンがGORE® WEARというブランドで展開する、ランナーやバイカー向けの一般消費者向けビジネスは、2012年に公正労働協会（FLA）に加盟し、2017年に公正労働協会（FLA）の認定を受けました。

GORE® WEARは、2019年に米国アパレル＆フットウェア協会（AAFA）と公正労働協会（FLA）が推進する、グローバルサプライチェーンにおける出稼ぎ労働者の強制労働リスクに対応するための業界の取り組みである、「責任ある雇用に対するコミットメント」に140以上のアパレル・フットウェアブランドと共に参加しました。

---

「Commitment to Responsible Recruitment」の詳細は、https://www.aafaglobal.org/AAFA/Solutions_Pages/Commitment_to_Responsible_Recruitment（英語）でご覧いただけます。

---

## サプライチェーンを通じて進展する多様なGSR活動

最後に、3つ目のセグメントには、トレードマークライセンス契約を結ぶカスタマーとその製造工場が含まれます。バリューチェーンに沿った公正な労働条件という包括的な目標を掲げ、トレードマークライセンス契約を結ぶカスタマーと連携する、3ステップのGSRプログラムを推進してきました。

同等の行動規範に合わせること目標とした、一般消費者向けファブリクスのライセンシーとの最初の段階を完了しました。現在は次の段階に入り、カスタマーがマネジメントシステムを導入しているという確信を得ることを目的として、最終製品を製造している認定工場での行動規範の遵守を監視します。プロフェッショナルユーザー向けテクニカル オリエンテッド ファブリクス（TOF）のライセンシーに関しては、GSRプログラムの最初の段階にあり、カスタマーの半数以上と行動規範の整合を達成しました。

**個人的に強調したいGSRプロジェクトはありますか？**

**ケナン・アーセル：**あなたの労働慣行がどれほど優れていると思っていても、独立した第三者機関による検証がなければ確信は得られません。自己評価はどんなに優れたマネジメントシステムにも必要ですが、それだけでは不完全であり、独立した外部評価がなければ誤解を招きかねません。このような理由から、2019年に中国の深圳にある製造工場がHigg Facility Social & Labor Module（FSLM）検証が、当社の社会的コンプライアンスの旅において重要なマイルストーンとなりました。

Higg認定の信頼できるサービスプロバイダーから経験豊富な2名の監査員が派遣され、広範囲に及ぶ文書審査、社員および管理者への聞き取り調査、製造エリアの徹底的な視察が実施されました。全体的には非常に満足のいく監査結果となり、公正な労働基準を遵守していることが証明されました。雇用主による十分な住宅準備基金の運用といった、中国では珍しいベストプラクティスもその一例です。

検証によっていくつかの機会も特定されました。この学習の機会を最大限に活用するために、私たちはFSLMツールの3つのレベルすべてを採用しました。これには、国内および国際基準を超え、職場の幸福と地域社会への影響を高めることを目指す取り組みをカバーする「Above & Beyond」が含まれます。

個人レベルでは、今回の検証で満足と謙虚さを両方得ました。監査員が私たちの社会的コンプライアンスのパフォーマンスが業界の基準を満たしていることを確認している場合、それは非常に満足です。一方で、監査員の期待に応えられなかった場合、課題に向き合う経験となります。これにより、フラットな階層、マトリクス組織、個人の自由という当社特有の企業文化に、業界のベストプラクティスがどのように反映されるかについて、健全な話し合いが始まります。

ケナン・アーセル

## サプライチェーン全体にわたって進展する様々なGSR活動

次回にスコアを向上させることを目標に、監査で特定された課題に対処するよう努めます。業界全体との連携と透明性対する当社の方針に沿って、検証されたHigg FSLMの結果をビジネスパートナーと共有します。

**ゴアのGSR活動における次のステップは何ですか？**

**エブレ・ケイナック：**前述の同じサプライチェーンセグメンテーションを使用して、2020年のGSR活動では、以下のような取り組みをします。

当社の製造施設については、ドイツと米国の両工場でHigg FSLMによる検証を計画しています。また、継続的な改善のために、今後3施設すべてでこの演習を繰り返す予定です。

2020年にGORE® WEARは、公正労働協会（FLA）が加盟企業に展開した透明性を高めるための新しい構想に従って、カットソーのサプライヤーを公表します。

当社のトレードマークライセンシーに関する限り、当社はカスタマーと協力して、最終製品の製造における健全な労働環境を促進するための努力を続けます。ゴア ファブリクスディビジョンのようなテキスタイルサプライヤーが、サプライチェーンの下流の労働条件に取り組むことは、非常にユニークです。しかし私たちは、ゴアテックス ファブリクスから作られた最終製品を誇りに思っており、当社とパートナーの事業活動が敬意と公平性という大切な原則に導かれていくことを信じています。

当社の社会的責任に関するガイドライン（GSR）は下記のウェブサイトでご覧いただけます。
https://www.gore-tex.com/sites/default/files/assets/Gore-Fabrics_Guidelines_Social_Responsibility.pdf（英語）

**当社スタッフの説明を受けながら方針と手順に関する文書を審査する監査員（左から2人目）**

**製造エリアを視察する監査員（左から2人目）**

# ゴアテックス アスリートのグレッグ・ヒルが習慣や自身の生き方を変えた方法について語る

## サステナビリティを熱心に支持する著名なスキー登山家が、誰もが環境に優しいアウトドアライフを送る方法を説明します。

長年にわたり育まれ、疑問の余地のない習慣は便利になりスムーズに機能するようになります。しかし、それだけでは理想的ではありません。カナダの記録破りのスキー登山家であり、ゴアテックス アスリートチームのメンバーでもあるグレッグ・ヒルが、習慣について語り、記録に執着するアウトドアアスリートから環境に配慮したアウトドアアスリートにどのように変化したかを語ります。

「世界の変化を目の当たりにすると、環境問題に対する不安を抱きがちです。私にとってこの不安を克服する最善の方法は、行動し、自分が変わることです。

最初のステップは簡単です。自分が環境に与える影響について関心を持ち意識してください。これを探る有効な方法は、炭素計算機を使用してあなたの環境フットプリントが最も重い場所を特定することです。

通常、移動距離を減らすことは重要なステップであり、身近な場所で冒険することのすばらしさに気づかせてくれます。私は地元での冒険が最も価値あることだと気づきました。山頂を眺めるたびに思い出が蘇り、遠足を思い出させるからです。

人間が動力を与えられるほど、より良いです。私を信じてください。健康、チャレンジ、報酬は、心拍や激しい呼吸で獲得した時、はるかに大きくなります。

よいニュースは、エコホテル、エコアドベンチャー、エコトラベルなど、利用できるオプションがますます増えていることです。これらは意識的に選択するものですが、価値があります。同じ旅行でも、環境に配慮して行うことで、より一層意義深いものになります。

環境に関する自分の習慣を見直し始めると、多くの改善点が見えてきます。最初はそれは全て難しいように見えますが、しばらくすると、これまでと違うことがしたことがなかったかのように完全に当たり前に感じられます。ですから、これらの変化が習慣になり、生き方になるのです。

愛するものを守るために必要なのは、小さな変化を起こすことだけです。あなたはただ初めて、それから突き進む必要があります。それは、あなたにとっても環境にとっても良いことです！」

# ゴアテックス アスリートのグレッグ・ヒルが習慣や自身の生き方を変えた方法について語る

グレッグによる、より環境に配慮したアウトドアライフへのアプローチは、以下の5つのポイントにまとめられます。

1. 自分自身をチェックしましょう！
2. 地元で活動しましょう！
3. 自分自身の身体のパワーを信じましょう！
4. 自分自身の目標を調整しましょう！
5. 小さな変化を習慣に変えていきましょう！

グレッグ・ヒルの説明は
https://youtu.be/7XTIHaBwEoM
（英語）でお聞きいただけます。

**グレッグ・ヒル**は、カナダのブリティッシュコロンビア州レベルストークに住むスキー登山家です。ゴアテックス ブランドの支援により、冒険を求めて世界中を旅しました。山火事からハリケーンまで近年の気候危機で、飛行機や車の移動からの排出物が環境に悪影響を及ぼしていることに気づきました。彼はそれ以来、気候変動にあまり影響しない冒険の新しい方法を探求することに専念してきました。

© Greg Hill

# W. L. Gore & Associates（ゴア）について

ゴアは、業界に変革をもたらすことで人々の生活の向上に尽力する、グローバルな技術主導型企業です。1958年の創業以来、宇宙空間から世界最高峰の山頂、さらには人間の体内まで、厳しい環境における複雑な技術的課題の解決に寄与してきました。ゴアはチームワークを大切にする企業文化を持つことで知られており、10,500人を超えるアソシエート（社員）を擁し、年間37億ドルの収益を上げています。詳細はwww.gore.comをご参照ください。

# ゴア ファブリクスディビジョンについて

ゴアは、防水性と透湿性を備えたゴアテックス ファブリクスによって、40年以上前にアウターウェア業界に革命をもたらし、今なお機能性アパレルをリードするイノベーターであり続けています。ゴアのファブリクス製品は、過酷な環境において、あるいは日常生活においても快適性と保護性能を提供し、着る人が安全で快適により多くのことを達成し経験をすることを可能にします。カスタマーや業界のニーズを理解し、土砂降りの中のハイキングから防衛、消防活動に至るまで、価値ある性能の有利性を備えた製品の開発に取り組んでいます。詳細は、**www.gore-tex.com**および**www.gore-workwear.com**をご参照ください。

© 2020 日本ゴア合同会社 ゴアテックス、GUARANTEED TO KEEP YOU DRY™、インフィニアム™、GORE® は、W. L. Gore & Associatesの商標です。